

■ 政治データ分析 ■
■ 課題5 従属変数について ■

2005年衆院選データにおける「政党支持強度」の、変数再構成の一例を紹介します。ここでは、再構成の手続きを、以下のように定めます。

(1)Q20で支持政党を回答した場合は、

- ・ Q20SQ1で強い支持(コード「1」)なら、newstrn=2
- ・ Q20SQ1でそれほどでもない(コード「2」)なら、newstrn=1
- ・ Q20SQ1でDK・NA(コード「3」)なら、newstrn=9として欠損値

(2)Q20で「支持なし」(コード「10」)と回答した場合は、

newstrn=0

(3)Q20でDK・NA(コード「11」)の場合は、

newstrn=9として欠損値

以下、シンタックスです。

*ファイルを読み込んだあと、下記のシンタックスを実行して、支持強度を表す新しい変数newstrnを作成します。

```
if (partstrn=1) newstrn=2.
```

```
if (partstrn=2) newstrn=1.
```

```
if (partstrn=3) newstrn=9.
```

```
if (partsupt=10) newstrn=0.
```

```
if (partsupt=11) newstrn=9.
```

```
missing values newstrn (9).
```

*値ラベルを付けます。

```
value labels newstrn 2'強い政党支持' 1'弱い政党支持' 0'Q20で支持政党「なし」'.
```

*newstrnの分布を確認します。

```
freq newstrn.
```